

議題1 令和2年度新規事業及び変更点について

(1) ロタウイルス予防接種定期接種開始

対象者	令和2年8月1日生まれ以降のお子さん	
開始日	令和2年10月1日からの接種	
	生後6週から接種できるが、9月に接種したものは任意接種で対象外（助成制度を利用）	
ワクチンの種類 (どちらかを選択)	2回接種ワクチン (ロタリックス)	出生6週0日から24週0日までの間にある人
	3回接種ワクチン (ロタテック)	出生6週0日から32週0日までの間にある人
周知方法	8月1日号広報に掲載 ホームページに掲載	
通知	ヒブ・肺炎球菌・B型肝炎と同時に送付します。 (生後2か月になる少し前) 3回分送付しますので、ロタリックスを選択の場合、3回目は破棄してもらいます。	

令和2年7月31日生まれまでのお子さんと8月1日生まれ以降でも9月に接種した場合は、小牧市の助成事業になりますので、今年度は定期接種と助成事業と混在します。(助成事業は今年度限りになります)

10月以降実施医療機関

定期接種	小牧市の助成
26医療機関	26医療機関

(2) 接種間隔の変更について

令和2年10月1日から接種間隔について改正されます。

注射の生ワクチンから注射の生ワクチンを接種する場合は、27日以上の間隔が必要ですが、それ以外、異なったワクチンを接種する場合は制限がなくなります。

同一ワクチンを複数接種する必要がある場合は、添付文書どおり間隔

が必要になります。例えばヒブ・肺炎球菌・B型肝炎の初回接種は27日以上、4種混合の初回接種は20日以上が必要になります。

現行どおり同時接種は可能であるため、乳児期の初回接種については、現行の接種間隔と差異はないかと考えます。同時接種をしない場合で、複数回接種が必要な場合は、現行6日以上の間隔もしくは27日以上の間隔が必要であるが、改正後は制限がなくなります。

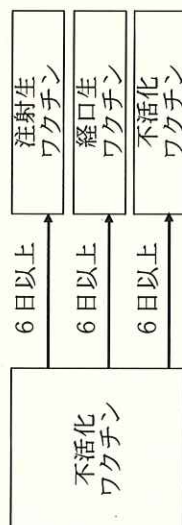
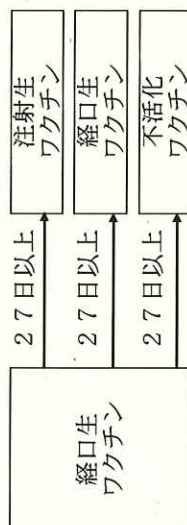
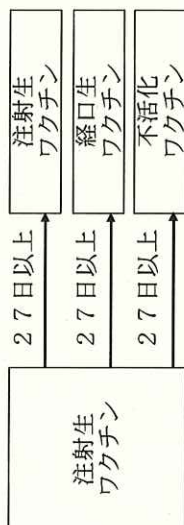
例えば、極端な話、制限が無くなるということで、午前中に4種混合等不活化ワクチンもしくは経口生ワクチンのロタウイルスワクチンを医療機関で接種してきて、午後から保健センターでのBCG接種も可能になります。

接種間隔の見直し（令和2年10月1日から変更になります）

現行

《異なるワクチンの接種間隔》

接種ワクチン → 次に接種するワクチン



変更後

《異なるワクチンの接種間隔》

接種ワクチン → 次に接種するワクチン



○注射生ワクチンとは、BCG、麻しん風しん混合、水痘、おたふくかぜ

【 注意事項 】

※小児肺炎球菌やロタウイルスワクチンなど同一ワクチンを複数回接種する必要がある場合、

接種間隔の制限は添付文書に従うこと

注射生ワクチンから注射生ワクチンを接種する場合のみ27日以上間隔が必要

○注射生ワクチンとは、BCG、麻しん風しん混合、水痘、おたふくかぜ